

管理者のマネジメントスキル 4 (指導方法)

新藤 信夫

今回は特に現場の隊長さん、団委員長さん向けのマネジメントについて記載しました。
スカウト活動の目的は「**社会に貢献できる青少年の育成**」ですが、指導するリーダーは
更に**成長した人格者で、指導者たちや、スカウトからも、信頼される人**であってほしいものです。

1. すずめの学校 (ムチを振り振り)

上司や先輩が新人や部下に対して**知識や技能を基礎から学校方式できちっと教える。**

会社ごとの教育訓練体系による階層別教育

2. めだかの学校 (誰が生徒か先生か)

あまり教えすぎず、一般社会と同じように、相互に話し合い、**自由に考えさせ個性豊かな成長を促してゆく。**個人の自己啓発を助長できる様に指導していく。

管理者は現場現物主義(3直3現主義)

1. まず身体を使って汗をかこう !!

「**隊内(団内)で問題が起こったら**」

① 直ちに現場に行き問題を**確認**する。

② 直ちに問題の**現物**を確認する。

③ 直ちに**現時点での手**を打つ(現実)

* 特に**セーフ フロム ホーム**のことなどは!!

2. 少しは頭も使わなくては!!

* 今日**の成果**、明日のこと、将来のことを

2020年から教育改革が実施される(幼稚園から高等学校の学習指導要領の改訂と大学入試改革です) 今回の改定の一つが**主体的・対話的で深い学び(アクティフ・ラーニング)**の視点から「**どのように学ぶか**」がうたわれ、「**先生が一方向的に教え、生徒が聞いて学ぶ**」授業から「**双方向、対話的な学びのスタイル**」が中心になっていくようです。大学入試共通テストは、**知識のほか、思考力、判断力、表現力**を評価します。

- * スカウトたちを指導していくには、**すずめの学校方式**から、ボーイスカウトの2級、1級と上進していくにしたがって、**めだかの学校方式**に変えていく必要があります。(一方的指導から、相互検討方式へ)
- * スカウト活動における、**班制教育と班長訓練の重要性**を認識してその活用に努められる隊長になってほしい。**その成果がスカウトの成長やリーダーシップ育成**につながると思います。
- * スカウト活動を展開していると、いろいろな問題が発生いたしますが、隊長は何かとお忙しいと思いますが、**直ちに現場に行って状況確認**をすることが大切であります。特にスカウトに危険が及ぶ時など。人に聞いた話では責任が果たせない時がありますので自分の目で現場を見て確認をする必要がある。

管理者の皆さんへ

企業の競争力の源は、働く従業員一人ひとりの「意欲と活力」である

↓
企業は人なり

そのため、**管理者は何をなすべきか**
経営方針・ビジョン・目標・営業戦略・
生産戦略・調達計画・品質管理・**社員教育・コミュニケーション**・などなど

管理者として備えておきたい要件

- 1、 **MISSION** (使命)
- 2、 **VISION** (将来像)
- 3、 **DECISION** (決断力)
- 4、 **INNOVATION** (変革)
- 5、 **ACTION** (行動力)
- 6、 **FASHION** (時流)
- 7、 **PASSION** (情熱)

団委員長としては自団の

「**あるべき姿**」を常に考えて欲しい。

- * 「**企業は人なり**」といわれるように、良い人材を求めております。スカウトの指導者、特に**団委員長や、隊長になるような管理者**についても全く同じことが言えます。
- * スカウトの良き指導者や管理者という方々は、**人間的に信頼される人格者で、スカウトたちや、保護者や、職業人としては上司や部下たちから信頼される人**であってほしいものです。